

結婚式における新型コロナウイルス感染対策ガイドライン

令和3年9月

(企画・制作) NPO法人北九州ブライダル協会
(監修) 学校法人産業医科大学
(協力) 北九州市

①結婚式・式場内(人前式)

	感染の種類	対策の種類	基本概念	結婚式場内(具体例)		
				挙式	退場 (フラワーシャワー)	ブーケトス
対策	飛沫感染	原則	①マスクを着用する ②通常会話時に2メートル、歌唱などの時に3メートルの距離をとる	①参加者はマスクを着用する ①聖歌隊はマスクを着用する ①神父はマスクを着用する ②聖歌隊はマスクを着用しない場合、最も近い人から3メートル離れる(聖歌隊同士も含む) ②フルートなどの管楽器は3メートル離れる ②参加者同士は2メートル離れる	①シャワー係はマスク着用する ②シャワーの参加者を少なくし、できる限り距離を確保できるようにする	①マスクを着用する ②客同士の距離が2メートル以内の時間を5分以内とする
		次善策	③アクリル板等で遮蔽する	③神父のアクリル板を使用し飛沫を浴びないようにする ③聖歌隊のアクリル板を使用し飛沫を浴びせないようにする(聖歌隊同士も含む) ③参加者同士の間にアクリル板を設置する		
	接触感染	原則	①共用部を触らないようにする・共用部に飛沫が飛ばないように工夫する ②入退室や共用部を触った直後の手指衛生を行う	①結婚証明書のペンは神父用と新郎新婦用で分け、使用の都度消毒を行う ②入退室時に手指衛生を行う	①シャワーのフラワーは買い取り制にする ②手指消毒後にシャワーを行う	②終了後に手指衛生を行う
		次善策	③共用部分を消毒する			
	マイクロ 飛沫感染	原則	①1時間に2回の換気を行う	①ドアや窓を開けて換気する		
		次善策	②二酸化炭素を測定し700ppm以上となった時に換気を行う	②二酸化炭素濃度を測定し、700ppm以上の場合には換気の準備を行う		

②結婚式・式場内(神前式)

	感染の種類	対策の種類	基本概念	結婚式場内(具体例)				
				祝詞奏上	誓いの盃	神楽奉納	誓詞奏上	玉串奉奠
対策	飛沫感染	原則	①マスクを着用する ②通常会話時に2メートル、歌唱などの時に3メートルの距離をとる	①参加者はマスクを着用する	①飲食をしないときにはマスクを着用する	①参加者はマスクを着用する	①参加者はマスクを着用する	①参加者はマスクを着用する
		次善策	③アクリル板等で遮蔽する					
	接触感染	原則	①共用部を触らないようにする・共用部に飛沫が飛ばないように工夫する ②入退室や共用部を触った直後の手指衛生を行う	②入退室時に手指衛生を行う				②終了後に手指衛生を行う
		次善策	③共用部分を消毒する					
	マイクロ飛沫感染	原則	①1時間に2回の換気を行う	①ドアや窓を開けて換気する				
		次善策	②二酸化炭素を測定し700ppm以上となった時に換気を行う	②二酸化炭素濃度を測定し、700ppm以上の場合には換気の準備を行う				

③披露宴会場内

	感染の種類	対策の種類	基本概念	披露宴会場内（具体例）							
				自席着席時	自席離席時	出し物	挨拶	高砂の写真撮影（ケーキ入刀）	デザートバイキング	お見送り（ギフト手渡し）	
対策	飛沫感染	原則	①マスクを着用する ②通常会話時に2メートル、歌壇などの時に3メートルの距離をとる	①飲食をしないときにはマスクを着用する ②参加者同士の席を2メートル以上確保する	①自席を離れる際はマスクを着用する ②2メートル以上の距離を確保するよう努める ③高砂の2名がマスクを着用していない場合、2メートル以内に近づかない	①複数人の出し物についてはマスクを着用する ②出演者および客との間で距離（3メートル）をとった状態での少人数の歌や演奏を実施する	①挨拶時にマスクを着用する ②出演者および客との間で距離（2メートル）をとった状態での少人数の歌や演奏を実施する	①撮影時以外はマスク着用し、撮影のタイミングでは会話をしない ②客同士の距離が2メートル以内の時間を5分以内とする	①バイキングをとる際にはマスクを着用する ②一度にバイキングを取りに行く人数を制限し距離が確保できるようにする ③飲食は自分の席で行う	①マスクを着用する ②参加者同士の間隔を2メートル以上確保する ③会話を控えるよう呼びかける	
		次善策	③アクリル板等で遮蔽する	③アクリル板を設置し飛沫を直接浴びないようにする	③高砂にはアクリル板を設置し新郎新婦に飛沫が飛ばないようにする	③アクリル板を設置し飛沫を直接浴びないようにする	③アクリル板を設置し飛沫を直接浴びないようにする	③高砂やケーキにはアクリル板を設置し飛沫を防ぐ	③バイキングを設置するテーブルはいくつかに分けてそれぞれパーテーション等でセパレートする		
	接触感染	原則	①共用部を触らないようにする・共用部に飛沫が飛ばないように工夫する ②入退室や共用部を触った直後の手指衛生を行う	①客同士がビール瓶を注ぐなどの行為を行わないよう個別にサーブする ①マスクを外す場合においてはマスクケースを利用する ②参加者・スタッフは手指衛生（手洗いまたは消毒）後に入場する	①客同士がビール瓶を注ぐなどの行為を行わないよう個別にサーブする ①マスクを外す場合においてはマスクケースを利用する ②参加者・スタッフは手指衛生（手洗いまたは消毒）後に入場する	①使用する物品は個人管理としてスタッフも含め受け渡しを行わない、また、マイクには接触しない ②開始前後に手指衛生を実施する	①マイクは起立式のスタンドを利用し、マイクに触れずに挨拶を行う。 ②開始前後に手指衛生を行う		①ケーキは切り分けたものを給仕することで、参加者が切り分ける時のケーキへの飛沫付着を避ける ①食べ物に飛沫が付着しないよう覆いかぶせる ①バイキングを利用する際には小皿に分けるなど接触しないよう工夫を行う。 ②バイキング等の直前に手指衛生を実施する ③バイキングをとる場合、個人用の手袋を用いる	②退室時に手指衛生を行う	
		次善策	③共用部分を消毒する	③お酌をする直前に確実な手指衛生を行う	③お酌をする直前に確実な手指衛生を行う	③終了後は共用部を消毒する	③マイクは使用後に消毒する		③バイキング等の共用部分はタイミングを決めて消毒を実施する		
	マイクロ飛沫感染	原則	①1時間に2回の換気を行う	①ドアや窓を開けて換気する							
		次善策	②二酸化炭素を測定し700ppm以上となった時に換気を行う	②二酸化炭素濃度を測定し、700ppm以上の場合には換気の準備を行う							
	健康管理	原則	①体調不良者（発熱者含む）の参加は見合わせる	①招待状やご案内状に体調不良者は参加できないことを明記し、受付時にも掲示するなどの対応を行う。							
		次善策	②重症化しやすい人に対しては飛沫曝露しにくい環境を整備する	②常にマスクを着用する							

